

| | | | |
|-------|---------------|--------|-------------------|
| 事業名 | 旧軍人遺族等援護費 | | |
| 細事業名 | 遺族会活動推進事業費補助金 | 財務コード | 169906 |
| 担当部課室 | 福祉保健 部 | 国保援護 課 | 援護恩給 担当 (内線) 3118 |

事業の概要

| | | | |
|-------|--|---|---|
| 実施期間 | 始期 S37 年度 ~ 終期 年度 | | |
| 実施主体 | 補助(一般財団法人 山梨県遺族会) | | |
| 事業の目的 | だれ(何)を対象に 戦没者の遺族 県民一般 | その対象をどのような状態にして 戦没者慰霊と遺族の慰藉を図る各事業に積極的に参加している | 結果、何に結びつけるのか 戦争の悲惨さと平和の尊さの承継、県民意識の向上 |
| | 戦没者の遺族を会員とする一般財団法人山梨県遺族会が円滑に事業を推進するために補助金を交付し、戦没者の慰霊と遺族の慰藉を図る。 ・補助対象事業 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式参列遺族助成事業 H26.5.26 厚生労働省主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式に遺族代表10名が参列し、戦没者の慰霊を行った。 山梨県遺族会女性部大会事業 H27.1.29 英霊の顕彰運動、戦没者遺族の処遇改善・女性部組織の拡充強化を図るため、女性部大会を開催した。(185人参加) 山梨県遺族会地区大会事業 H26.10~11 遺族の慰藉、遺族運動の現況確認及び諸問題解決のため遺族会地区大会を開催した。県下9地区で実施することにより、組織の充実強化を図った。(1,200名参加) (9地区:甲府、南アルプス、山梨・甲州、笛吹市、峡中、峡南、峡北、東部、南都留) ・補助金額 2,239,000円 ・補助率 1/2以内 | | |
| 根拠法令等 | 一般財団法人山梨県遺族会事業費補助金交付要綱、山梨県補助金等交付規則 | | |

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

| 事業の実施状況と目標の実現度 | 25年度 | 26年度 | | 27年度 | 28年度 | 事業目標の考え方 | |
|---------------------------|------------------|--------|--------|---------|--------|----------|-------------------------------|
| | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 見込値 | 目標値 | | |
| 活動指標 | 地区大会開催地区数 | 9地区 | 9地区 | 9地区 | 9地区 | 9地区 | 活動指標 目標設定の考え方 過去の実績による。 |
| | 活動指標達成率(実績値/目標値) | | | 100.0 % | | | データの出典等 事業実績報告 |
| 成果指標 | 地区大会参加者数 | 1,200人 | 1,200人 | 1,200人 | 1,200人 | 1,200人 | 成果指標 目標設定の考え方 過去の実績による。 |
| | 成果指標達成率(実績値/目標値) | | | 100.0 % | | | データの出典等 事業実績報告 |
| 決算額又は予算額(千円) | 2,239 | | 2,239 | 2,239 | 2,239 | 2,239 | 成果指標によらない成果 |
| うち一財額 | 2,239 | | 2,239 | 2,239 | 2,239 | 2,239 | |
| 所要時間(直接分) | 60 時間 | | 60 時間 | 60 時間 | 55 時間 | 55 時間 | |
| 所要時間(間接分) | 0 時間 | | 0 時間 | 0 時間 | 0 時間 | 0 時間 | |
| 所要時間計 | 60 時間 | | 60 時間 | 60 時間 | 55 時間 | 55 時間 | |
| 人件費コスト単位:千円(@2,048円×所要時間) | 123 | | 123 | 123 | | 113 | |

これまでの事業の見直し・改善状況

平成24年度自主点検実施
見直しの必要性「有」
戦争の悲惨さと平和の尊さの承継、県民意識の向上を図れるよう、遺族の子や孫などの若い世代、一般県民にも訴えかけられるよう事業対象を見直した。

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

| (1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断) | | |
|---|----------------|--|
| 数値判定 H26年度 活動指標 の達成率 | 活動量に係る 一次評価 | 活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること |
| b | b | |

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

| (2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断) | | |
|---|---------------|--|
| 数値判定 H26年度 成果指標 の達成率 | 成果に係る 一次評価 | 成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること 地区大会には目標である1,200人が参加しており、事業の成果は上がっている。 |
| b | b | |

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

| 一次評価(担当部局評価結果) | | |
|----------------|--|-------------|
| 見直しの必要性 | 説 明 | 以外の 判断項目 |
| 有 | 実施団体が正確かつ速やかな申請ができるよう、記入例の提示や助言などを行い、所要時間の縮減を図る。 | k |

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: ITの改善 m: その他

| 二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価 | | |
|---|-----|-------------|
| 見直しの必要性 | 説 明 | 以外の 判断項目 |
| | | |

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

| | |
|----------|---|
| 見直しの方向 | 具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること |
| 実施方法等の変更 | 補助金交付申請等の手続きの際に、実施団体が正確かつ速やかに手続きができるよう、記入例の提示や助言などを行い、所要時間の縮減を図る。 |

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること